

沖縄県外

25.5%

県外の約3倍

戦後

日本全国にたくさんのお米軍基地が造られました。1952年の独立後、徐々に返還されましたが、米軍統治下におかれた沖縄には、全国にあった基地が移され、復帰後には70%台にまで増えました。

日本の国土面積の

わずか0.6%の沖縄に、

在日米軍基地の

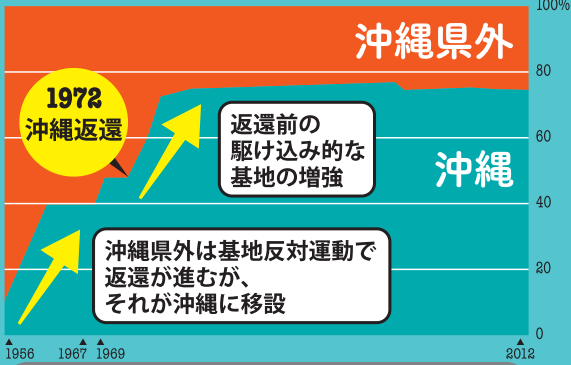
約74%が集中しています。

なぜ、このような状態になっているのでしょうか？

74.5%

専用施設全体面積に占める割合

防衛省「在日米軍施設・区域(専用施設)面積」より作成

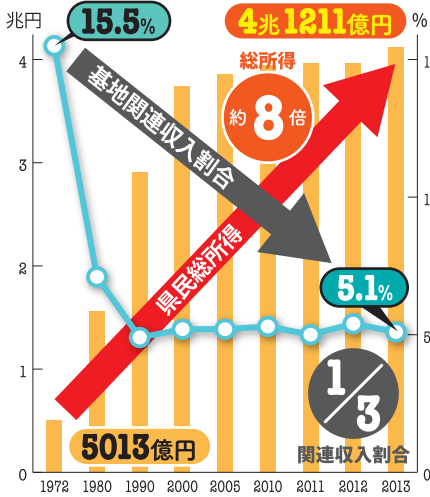


専用施設全体面積に占める割合の推移

琉球朝日放送「シリーズ15 基地負担軽減の実態」より作成

県民総所得とそれに占める基地関連収入の割合

沖縄返還以来、関連収入割合は約3分の1に減りました。返還された地区では、返還前と比べ、高い経済効果も。



沖縄の経済は基地に依存している？

「世界一危険な基地」
 普天間飛行場
 宜野湾市の中心にあり、市の4分の1を占める普天間飛行場。住民は、騒音や墜落の危険と隣り合わせて生きています。2004年には基地に隣接する沖縄国際大学にヘリが激突、炎上する事故も起りました。事故後、米軍は現場を封鎖。日本の警察やメディアが事故の調査をすることは許されませんでした。



2004年のヘリ墜落事故機体の一部は、民家近くにも ©兼城淳子



街の真ん中にある、普天間基地航空機などによる騒音被害も著しい ©琉球新報

返還前後の経済効果

	返還前	返還後	[単位:億円]
那覇新都心地区	52	1634	32倍
小禄金城地区	34	489	14倍
桑江・北前地区	3	336	108倍
合計	89	2489	28倍

沖縄の経済は、基地関連に依存しているから、返還すると、立ちゆかなくなるのでは？

という意見もありますが、本当にそうなのでしょうか？

平和な島を返してください

いつまでも米兵におびえ、危険にさらされながら生活を続けていくのは、私は嫌です。未来の自分の子供たちにも、そんな生活をさせたくありません。私たち生徒、子供、女性など弱い存在に犠牲を強いるのはもうやめてください。私は戦争が嫌いです。だから人を殺す道具が自分の周りにあるのも嫌です。次の世代を担う、



仲村清子さん [普天間高校3年・当時] 1995年の米兵による少女暴行事件に抗議する沖縄県民総決起大会にて

私たち高校生や大学生、若者の一人一人が本当に嫌だと思ふ事が口に出して、行動していく事が大事だと思います。私たち若い世代に新しい沖縄のスタートをさせて欲しい。沖縄を本当の意味で平和な島にして欲しいと願っています。そのために私も一步一步行動していきたい。私たちに沖縄を返してください。軍隊のない、悲劇のない平和な島を返してください。

